

2026 年度 事業計画

躍動のための「礎」― 本質に立ち返り、次の世代へつなぐ

NPO 法人 三段峡-太田川流域研究会

I、総括

1. 全体の方針

2026 年度のテーマは「躍動のための礎(いしずえ)」とする。2024 年度「旺盛」、2025 年度「結実」を経て、収益事業の安定・人材育成の循環・ネットワークの拡充にとりくんだ。しかし、ホルムズ海峡情勢に起因するエネルギー・物価の不安定化など、外部環境に不透明感が増している。こうした状況において、拡大路線は組織リスクを高める可能性がある。

2026 年度は 10 周年の年になり、改めて組織の基本に立ち返り、「成長よりも深化」を選ぶ。やることを明確にしながら三段峡と組織の本質的な価値を磨き直す年と位置づける。具体的には以下の三点を重点方針とする。

- ・ **【基本に立ち返る調査】** 三段峡内の植生調査を再強化し「三段峡図鑑」への掲載を具体目標に据える。オオサンショウウオ・ヤマセミ調査も継続し、知的インフラとしての調査活動を堅持する。
- ・ **【次の世代へつなぐ】** さんけん自然塾のユース講師制度など、中高生から大学生へのキャリアパスを整える。広大さんけん部との連携を深め、次世代のフィールドワーカーを着実に育てる。
- ・ **【支援者の基盤を育てる】** ボランティア参加の仕組みを整備し、活動に関わった人が将来の支援者(寄付者・会員)へと育つ仕組みを構築する。体験→共感→支援というサイクルを意識的に設計する

収益事業(LOUPE・DROPS)は前年度実績の維持を目標とし、新規開発よりも品質向上と英語対応整備を優先する。秋に開業予定の三段峡ホテルとはコンセプト合わせと連携プログラムの企画立案を進め、来年度以降の「躍動」に備える。

設立 10 周年を翌年に控えたこの年、私たちは焦らず丁寧に根を張り、次の 100 年への確かな礎としたい。

■ 重点 KPI(2026 年度)

重要業績評価指標(KPI)	目標値	設定根拠・ポイント
カフェ・LOUPE 売上	178 万円以上	2025 年度実績を下限に設定。現状維持が今年の目標
DROPS ツアー自主販売売上	80 万円	2025 年度実績 55 万円から向上。英語対応整備とプロモーションの強化、大朝交通の連携
植生調査・図鑑新規掲載種数	20 種以上	調査の具体的な成果を可視化する。LOUPE でのフィードバックなども含め、調査の成果を活用する

オオサンショウウオ調査回数	年 10 回	継続指標。パタゴニア環境プログラム助成が継続。オオサンショウ調査以外でもパタゴニアとの連携を強化する
自然塾ユース講師数	4 名以上	次世代育成により注力をするために指標を変更
ボランティア参加者数	年間 30 名以上	新規指標。体験→共感→支援の入口として設定
ホテルとの打ち合わせ回数	3 回以上	秋オープンまでにコンセプト合意を形成する準備指標

2. 取り組みの概要

■ しらべる(リサーチ) / 環境保全事業・研究事業

① 「三段峡野外博物館プロジェクト」

(目的) 三段峡憲章の理念を実現し、三段峡の本質的な価値を高め続ける。調べ続けることで知見をいつでも活用できる状態を維持し、来訪者に三段峡の魅力を伝える。

最終アウトカム: 三段峡や地域の資源の価値が向上を続けるループが構築される

今年度のアウトカム: 植生調査を再強化し「三段峡図鑑」への掲載種数を増やす。LOUPE を安定した収益の柱として維持する

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
植生調査 (三段峡図鑑)	三段峡内の植物を体系的に調査し「三段峡図鑑」への掲載を具体目標に据える。さんけん植物部・広大さんけん部と連携して写真データと記録を蓄積する	本宮宏美 小林久哉 さんけん植物部 広大さんけん部	寄付	三段峡図鑑への 新規掲載 10 種以上 写真データの蓄積
オオサンショウウオ 生態調査	パタゴニア環境プログラムの支援のもと、柴木ダム下流等での個体群動態の把握を継続する	本宮炎	パタゴニア 環境 プログラム	調査年 10 回
LOUPE・カフェ の安定運営	三段峡にしかない土産物・カフェメニューの品質向上を優先する。新規開発より既存商品の磨き込みに集中する	瀬尾淳 本宮曜	売上	カフェ・LOUPE 売上 178 万円以上
情報発信	SNS(FB・Instagram)を活用した日常的な情報発信を継続する。AI 活用による効率化を推進する	小林久哉 本宮宏美	-	日常的な情報発信 三段峡図鑑 FB ページ ・インスタ運用

② 「三段峡の文化をつなぐプロジェクト」(新規)

(目的) 2025 年の名勝指定 100 周年で培った文化的コンテンツを継承・発展させる。秋に開業する三段峡ホテルとの連携を通じて、文化体験を「滞在型観光」へと昇華させる基盤をつくる。

最終アウトカム: 三段峡の文化・食・景観を体験できる滞在型プログラムが提供されている

今年度のアウトカム: 三段峡ホテルとのコンセプト合意を形成し、連携プログラムの企画立案を完了する

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
三段峡ホテルとの連携準備	秋オープンに向けて打ち合わせを重ね、インバウンド顧客向けの文化体験プログラムのコンセプトを合意する。南峰時代の文化・食・景観をコンテンツとして整理する	本宮宏美 松尾俊孝	寄付金	打ち合わせ 3 回以上 コンセプト合意の形成
三段峡清掃	渓谷内の環境整備と小径木管理を実施し、来訪者の安全確保と景観維持に貢献する	松尾俊孝	三段峡同業組合 寄付金	実施回数 4 回
河畔林の再生(水源の森)	自伐型林業の作業地でのトチの実の植え付けと生育調査を継続する。気温データログのモニタリングを維持する	本宮炎 大崎壮巳	オリーブ基金	環境教育プログラム実施 1 回 データログの継続観測

■ つたえる(インタープリテーション) / 人材育成・観光事業

③ 「さんけん自然塾プロジェクト」

(目的) 子供同士が学び合う自然塾の持続的な運営体制を確立する。学んだ子供が教える側に、教えた子供は地域のフィールドワーカーになる「世代をつなぐ循環」を本格稼働させる。

最終アウトカム: 地域のフィールドワーカーが育成され、地域の環境を保全する活動が継続する

今年度のアウトカム: ユース講師制度が定着し、次世代の講師が 4 名以上育つ

(実施概要)

④ 「エコツーリズム推進プロジェクト(DROPS)」

(目的) 三段峡の自然資源を守りながら持続可能な地域観光の確立に貢献する。三段峡ホテル開業を見据え、インバウンド対応の基盤を整備する。

最終アウトカム: 三段峡の自然資源が守られながら、持続可能な観光が行われている

今年度のアウトカム: 英語対応ツアーの基盤を整え、インバウンド受け入れ体制を構築する

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
ツアープログラムの英語対応強化	既存ツアープログラム(シャワーライミング・溪流釣りコース等)の英語ガイド対応を整備する。三段峡ホテルのインバウンド顧客を受け入れる体制を構築する	井上嵩裕	事業収益	英語ガイド体制の整備 自主ツアー売上 80 万円
委託エコツアーの造成・実施	行政・関係機関からの委託を受けてエコツアーを造成・実施する	本宮炎 小林久哉	委託費	ひろしま地球環境フォーラム 1 回 太田川流域振興交流会議 2 回
WEB サイト・SNS の	DROPS 公式サイトの英語ページを整備する。Instagram 等で	井上嵩裕	事業収益	英語ページ公開 SNS 英語発信

インバウンド 対応	英語発信を開始し、ホテル開業に 向けた露出を高める			週 1 回以上
--------------	------------------------------	--	--	---------

■ つなげる(ファシリテーション) / 地域づくり事業・友の会運営事業

⑤ 「みんなでつくる流域社会プロジェクト」

(目的) ファシリテーションを活用した地域マネジメントを実施し、地域内の協力関係と地域外との連携を強める。ボランティア参加の仕組みを整備し、活動に共感した人が将来の支援者となる土台をつくる。

最終アウトカム: さんけんがゲートウェイとなり、多様な主体が地域資源の活用を行う

今年度のアウトカム: ボランティア参加者が年間 30 名を超え、継続的な支援者へとつながる仕組みができる

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
ボランティア 参加 仕組みの整備	調査・清掃・自然塾補助など活動 への参加口を整理し「1 日から参 加できる」仕組みをつくる。参加 者が会員・寄付者へとステップア ップするファンネルを設計する	本宮宏美 瀬尾淳	寄付金	ボランティア参加者 年間 30 名以上 受け入れガイドの整備
あきおたの 楽しい 100 人・フィ ナーレ	100 人目を迎えるフィナーレの会 を丁寧に企画・実施する。地域の 人々が語り聴き合ってきたこの活 動の節目を感動的に締めくくる	本宮宏美	助成金	フィナーレ開催 (100 人目達成)
大学との連携	広島修道大学・叡啓大学等の学生 ボランティアの受け入れを継続 し、ボランティア仕組みの一環と して位置づける	大崎壮巳	助成金	広大さんけん部の活動回数 15 回 新入部員 3 名

⑥ 「さんけん 100 年化計画(組織基盤強化)」

(目的) 設立 10 周年(2026 年 7 月)を機に、次世代に引き継げる組織の土台を固める。ブランド力と財政基盤を強化し、ボランティア参加者・寄付者の獲得につなげる。

最終アウトカム: 次世代に渡せる組織になる

今年度のアウトカム: 支援者獲得の仕組みが整い、会員・寄付者数が増加する

(実施概要)

活動	概要	担当	財務	アウトプット
さんけん新聞	毎月 1 回の会報を発行し、会員や 地域住民との継続的なエンゲー ジメントを維持する	尾崎秀司	寄付金	発行回数 12 回
WEB サイト 整備・ 広報の強化	支援者獲得を意識したサイト構成 へ見直す。ボランティア募集・寄 付ページを整備し、共感した人が 行動に移しやすい導線をつくる	佐藤亜沙 本宮曜	寄付金	サイトリニューアル ボランティア・寄付 募集ページの公開
研修・学び合 い	スタッフ・理事が互いに講師とな る内部研修を継続する。NPO マ	本宮宏美	寄付金	内部研修年 4 回以上

ネジメントや助成金申請の知識を 組織内で共有する			
-----------------------------	--	--	--

3 2026 年度の位置づけ

2024 年度「旺盛」 → 2025 年度「結実」 → 2026 年度「躍動のための礎」

2026 年度は、これまでの成果を「仕組み」と「人」に変換する年である。収益事業は現状を守り、調査は本質に立ち返り、人材育成は次の世代へのバトンを意識する。そして新たに、ボランティアから支援者へとつながる仕組みを組織内に育てる。

秋には三段峡ホテルが開業し、インバウンド観光という新しい波が流域に訪れる。その波に乗るための準備をこの 1 年で整える。不確実な時代に焦らず根を張り、次の躍動を生む礎としたい。

NPO 法人 三段峡-太田川流域研究会

Ⅱ、事業別計画表＜県提出書式＞

特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定 場所	従事者の 予定人数	受益対象者の範 囲及び予定人数	事業費の 予算額 (単位：千円)
1.環境 保全 事業	101「環境保全」 生態系の保全のための活動をする	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民 120人	20
	102「環境調査」 生態系保全のためのモニタリ ングをする	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民 300人	20
	103「環境整備」 生態系や景観保全ための補助 路を整備する	5月～11月	三段峡 深入山	9人	太田川流域住民 60人	120 (10万委託有)
2.研究 事業	201「歴史・文化」 三段峡の歴史や文化の研究を する	通年	三段峡	5人	太田川流域住民 10人	30
	202「植物」 歩く会などを実施し植物の調 査・研究をする	4月～12月	三段峡 深入山 津浪	10人	太田川流域住民 100人	50 (森ファンド 20万予定)
	203「動物」 歩く会などを実施し昆虫等の 調査・研究をする	5月～11月	三段峡 深入山	12人	太田川流域住民 40人	30
3.観光 事業	301「インタープリテーション」 さんけんツアーの開発やガイ ド育成を実施する。研修等に参 加する。	4月～11月	三段峡 深入山	10人	太田川流域住民 200人	30
	302「イベント・ツアー企画運 営」 さんけんツアーやイベントの 企画や実施を行う	4月～11月	三段峡	10人	太田川流域 事業者等 100人	40 (3万助成金予 定)
	303「ビジターセンター」 三段峡交流館にてビジターセ ンター展示の素材を収集する	6月～3月	交流館	10人	センター来訪者 1000人	1060 (毎月 電気代5万、 仕入3万5)

4.地域 づくり 事業	401「ファシリテーション事業」 「FMC／（みんなでまろく向上委員会）」の運営をし、地域活性化を話し合う	通年 随時	筒賀社会 福祉協議 会会議室	3 人	安芸太田町民 2 0 人	3 0
	402「事務局委託」 さんけんの目的に沿うプロジェクトの依頼を受託し実施する。「あきおおたの楽しい 100 人」	通年 2 カ月に 1 回	安芸太田 町内	5 人	安芸太田町民 1 2 0 人	6 0 (NPO 倶楽 部より 5 万
	403「会議出席」 さんけんの目的に沿う会議への参加依頼を受託し出席する	随時	安芸太田 町内	5 人	安芸太田町民 5 0 人	4 0
	404「地域連携」 地域内や都市と中山間地域の連携を促進する	通年 随時	安芸太田 町内	3 人	全国 1 0 0 人	3 0
5.人材 育成事 業	501「教育プログラム開発」 自然体験学習・環境教育・ふる里学習のプログラムを開発する	通年	三段峡 深入山 龍頭峡	10 人	広島県民 全国 2 0 0 人	3 0
	502「教育プログラム実施」 子供達への教育プログラムの実施（さんけん自然塾）	6 月～11 月	三段峡	5 人	広島県民 3 0 0 人	4 0 (自然塾・自然あそび 縁参加費 40)
	503「教育機関等を対象とした教育プログラムの実施」 町外の子供達への教育プログラムの実施	7 月～12 月	三段峡 深入山 龍頭峡	3 人	大林小学校 戸河内小学校 豊平学園・鶴学 園 広島県民 1 5 0 人	1 1 8 0 (70 万県 38 万市局 10 万鶴 より委託
	504「研修への参加」 さんけんの組織強化および目的達成のための技能習得の為の研修への参加を行う	随時	広島市内 等	3 人	さんけん 理事・スタッフ など 1 0 人	5 0
6.情報 発信及 び 出版事 業	601「さんけん情報発信」 さんけん新聞・HP で情報発信する	通年	三段峡	6 人	三段峡に関心の ある人 1 0 0 0 人	1 0 0
	602「三段峡情報発信」 SNS などを活用して三段峡の情報発信をする					



	603「三段峡 web 図鑑」発信 SNS などを活用して生き物の 情報の発信をする	通年	三段峡	6 人	生き物に興味あ る人 1 0 0 0 人	3 0
7.友の 会運営 事業	701「会員サービス」 会員へ毎月広報や季節の写真 など四季の情報を届ける	通年	三段峡	10 人	広島県民など 1 0 0 0 人	1 0
	702「会員募集」 さんけんの入会案内、会員獲得 イベントなどを実施する	通年	三段峡	10 人	全国民 太田川流域住民 三段峡に興味のあ る人 5 0 人	6 0
	703「寄附獲得」 寄附獲得のための事業を実施 する	通年	三段峡	10 人	太田川流域住民 1 0 0 人	3 0
8.エネ ルギー 事業	今年度実施予定なし			0 人	太田川流域住民 0 人	1 0